

1 趣旨

(1) 策定の背景

- 2010年に愛知県名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）において採択された「愛知目標」が2020年に期限を迎え、2022年12月にカナダ・モントリオールで開催されたCOP15第2部において、2030年までの新たな世界目標である「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択されました。
- これを受け、国では、「生物多様性国家戦略2023-2030」を2023年3月に策定しました。
- COP10以降、世界や日本国内における生物多様性に関する取り組みは一定の進捗が見られたものの、生物多様性の減少には歯止めがかかっておらず、本市でも同様の状況にあります。
- また、最近では、気候変動による自然災害の深刻化、人口減少・高齢化などの課題の顕在化、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大などを受け、社会のあり方そのものが根本から問われています。

(2) 計画の目的

- 本市では、生物多様性に関する計画として、「生物多様性2050なごや戦略」を2010年に策定し、そのビジョンのもと、環境分野の総合的な計画である「名古屋市環境基本計画」において方針を定め、取り組みを進めてきたところですが、これまで生物多様性に特化した中・短期的な計画は設けていませんでした。
- 新たな世界目標や国家戦略ができたこの機会を捉え、本市における生物多様性に関する取り組みの強化と着実な進捗管理をはかるため、本市が2030年までに重点的・優先的に取り組む具体的な事柄やロードマップを定めた実行計画を新たに策定しました。

(3) 計画のポイント

- 本計画は、本市と市民・市民団体・事業者等の多様な主体が、役割分担のもと、パートナーシップによる生物多様性に関する取り組みを進めていくための共通の指針となるものです。
- 本計画では、本市の地域特性や状況を考慮しながら、特に重点的・優先的な取り組みを明確にしています。

(4) 計画期間

2023年度から2030年度まで

2 位置づけ

本計画は、「生物多様性2050なごや戦略」と「第4次名古屋市環境基本計画」におけるビジョン・方向性を踏まえ、本市が2030年までに重点的・優先的に取り組む事柄等について、より具体的に示したものです。

【生物多様性2050なごや戦略】（2010年3月策定）

- ・生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略（2050年までの長期戦略）
- ・本市の生物多様性に関する2050年までの長期的なビジョン
- ・最新の動向等に照らし合わせても、内容的に対応していることから、現状のまま活用

2050年のビジョン

多様な生物と生態系に支えられた豊かな暮らしが持続していく都市なごや

【第4次名古屋市環境基本計画】（2021年9月策定）

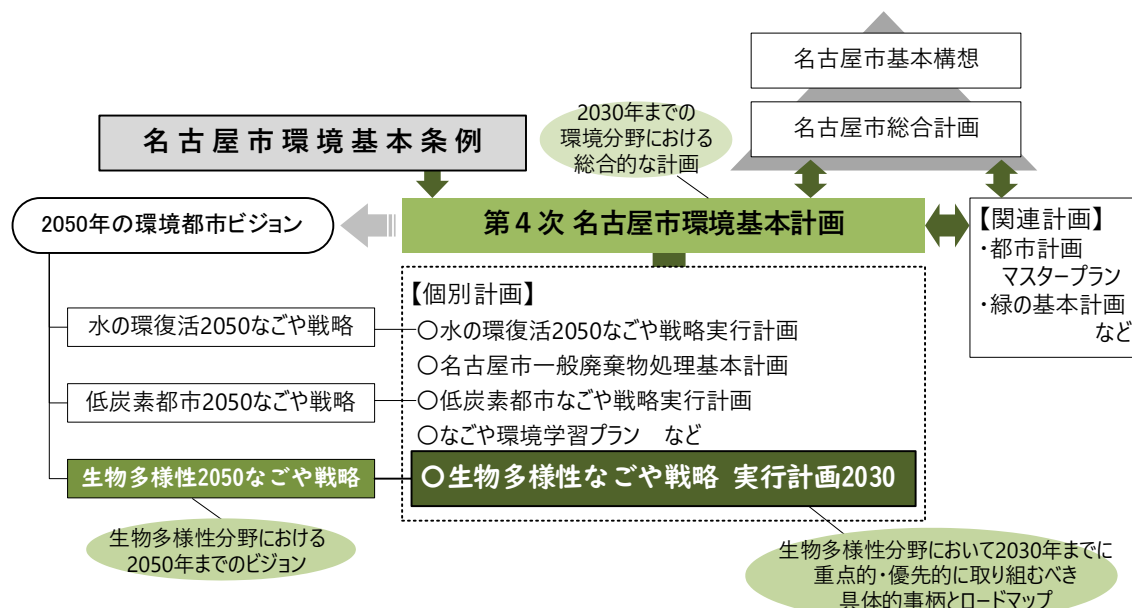
- ・名古屋市環境基本条例に基づく、本市の環境分野における総合的な計画
- ・2030年までの施策の大綱（施策の体系と方向性）を示す

みんなで目指す2030年のまちの姿

パートナーシップで創る 快適な都市環境と自然が調和したまち

【生物多様性なごや戦略実行計画2030】（2023年10月策定）

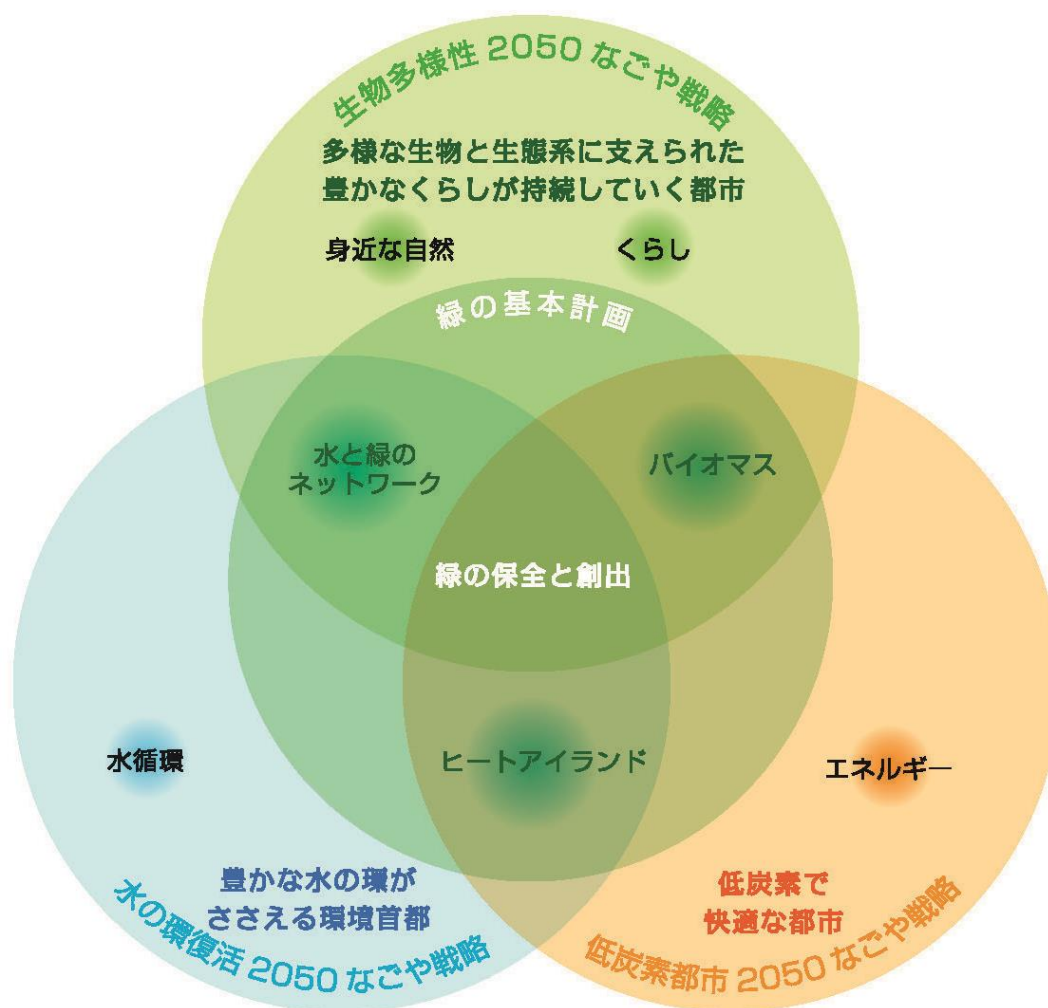
- ・生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略（2030年までの中・短期戦略）
- ・「生物多様性2050なごや戦略」、「第4次名古屋市環境基本計画」が示すビジョンを踏まえ、本市が生物多様性分野において、2030年までに重点的・優先的に取り組む具体的な事柄やロードマップを定めたもの



【3つの環境戦略と緑の基本計画】

以下の図は、「生物多様性2050なごや戦略」において、名古屋市の環境分野とつながりが深い戦略・計画の重なる領域を示した図です。「生物多様性」、「低炭素都市」、「水の環復活」、「緑」の戦略・計画が取り扱う分野は相互に重なっており、そのうち「緑の基本計画」は中央に位置し、「緑の保全と創出」が4つの戦略・計画のすべてに関わっています。

本計画の推進にあたっては、生物多様性と関係が深い本市の戦略・計画との関係や、様々な課題の同時解決を意識しながら施策を展開していきます。



3つの環境戦略と緑の基本計画
(「生物多様性2050なごや戦略」より)

【生物多様性2050なごや戦略】（2010年3月策定）

「生物多様性2050なごや戦略」では、多数の市民の皆様からご意見をいただき、100年後の夢のなごやの姿を描いています。「なごやの風土にあった生きもののすみかが広がる」、「地域ごとにその自然を活かした、いきいきとした市民の暮らしが営まれている」ことなどが、将来像として描かれています。

① 100年後の夢のなごやの姿

- なごやの風土にあった生きもののすみかが広がり、オフィス街や住宅地にも、まとまってつながりのあるすみかがみられます。
- 地域ごとに、その自然を活かした、いきいきとした市民の暮らしが営まれています。



100年後の夢のなごやの姿
（「生物多様性2050なごや戦略」より）